受入先	観光課
隊員氏名	岩崎泰依
着任日	平成 30 年10月1日

活動月	平成 31 年2月(着任 5 カ月目)
主な活動	イベント企画、和綿畑づくり、研修など

# 1. 初めてのイベント企画でかんがえたこと

3月3日のひな祭りイベントに向け本格的に準備がはじまりました。 まず自分がこのイベントを通して伝えたいことや、やりたいこと、自分が出来ることは何だろうという事を特に念頭におきながら作業をすすめていきました。

### 「親しみやすい武家屋敷」

きっかけは市内の方にご挨拶させていただく度に「武家屋敷にいらっしゃることはありますか?」と質問をしていました。するとほとんどの方が「行かない」との答え、中には「行ったこともない」「興味もない」とのお答えもありました。ここではっきり言ってもらえた事も良かったと思います。それならもっと地域の方に武家屋敷を身近に感じてもらい憩いの場所として活用してもらえないかと思いました。このことはこれからの活動においても大きなテーマとして掲げていきたいと思います。

#### 「武家屋敷と着物」

薩摩の小京都とも例えられる知覧の武家屋敷通りを着物姿の人がいたら素敵だろうなと思いました。自分自身も以前着物に携わる仕事をしており得意なことを活かせるのでまず、おもてなしをする自分たちが楽しみながら着物を着てその姿を見て頂き「自分も着てみたい」と思ってもらえるような雰囲気を作りたいと考えました。イベントの中で着付け体験の催しを企画しましたが、多くの近隣にお住まいの外国人の方から興味を持っていただき問い合わせやお申し込みを頂きました。今回のイベントの案内では英文も載せたことで情報が外国人の方の目にも触れて頂けたようで、小さな試みではありましたが大切なことだと思いました。

#### 「地域資源を活用した設え」

自然に囲まれた南九州市に来て、わずかな間ですが季節の移ろいを感じていく中でこの豊かな自然を活かしたことをやってみたい、多くの人にも見てもらいたいと思うようになりました。ひなまつりでは地域の方にご協力いただき、花桃や木蓮など季節のお花をたくさん飾り、お菓子をお出しするお皿の代わりに葉蘭を使ったりし

てお客様にも楽しんでいただけたらと思っています。何気ない事ですがこのような 体験は都会にいては出来ない事で何よりも情緒を感じる価値のあることです。お客 様との話題づくりにもなるし、目でも楽しんで頂けると思っています。

### 「特別な体験」づくり

武家屋敷を訪れるお客様から室内に入ってみたかったというお声を聞くことがあります。それならこの日だけでも西郷邸の室内を開放し、ゆっくりとお過ごし頂く事が特別な体験になるのではないかと考えました。今回の反応を見て、今後も活用できる施設を利用して、訪れたお客様に少しでも満足していただける環境を作っていきたいです。

## 「おもてなしで特産品 PR」

知覧茶のほか、知覧紅茶を使ったチャイ(スパイス入りミルクティー)、鹿児島国際大学生と地元企業のコラボレーションスイーツのお披露目試食会で来場者をおもてなしします。商品をよりアピールできるようただ召し上がって頂くだけでなく POP づくりやスタッフの商品知識の周知など魅せ方にも工夫をします。

このほかにもドローン映像の展示や、お子様向けにお茶むらいの吊るしびなづくり体験などの催しも企画しています。今回は本当にありがたいことに地元企業の方、実行委員会スタッフ、鹿児島国際大学の学生さんと多くの方にご協力頂いております。宣伝活動としてラジオに出演させていただいたりと今までに無い経験もさせていただきました。来場者の方にお楽しみいただく為にまず自分たちが心から楽しんで当日に臨みたいと思います。





# 2. 地域おこし協力隊活動報告会を終えて

2月28日(木)知覧文化会館にて地域おこし報告会にて活動の発表をさせていただきました。月末の平日の夜にも関わらず多くの方にお集まりいただき、地域おこし協力隊の活動に関心をもって頂いていることが解りとてもありがたく思っています。

私は4人の協力隊の中では5ヵ月目と一番新しく報告会も初めての参加ということと、多くの人の前で話すのがあまり得意ではないので、今回は自分がどういう人となりで今後やっていきたいことなどをお伝えしてまず顔と名前を覚えてもらおうと思いました。

報告会後も興味を持っていただいた方からお声をかけて頂き、今までの活動の中だけでは関われない多くの方とお話をさせていただくことが出来ました。国際交流のイベントでインドカレー教室の講師のお話をいただいたり、着物を活かした地域活動のアイデアを頂いたりと今後の励みになる活動報告会となりました。



和綿畑の看板をつくりました!



武家屋敷内に水仙をたくさん植えました